事例No.	1099
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	長野県岡谷市

事例区分	一般行政

タグ	・過疎対策事業債 ・適切な資産管理 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

松くい虫防除対策事業

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

森林整備

長野県　岡谷市（松くい虫防除対策事業）

- 岡谷市では、平成30年に市内で初めて松くい虫による被害の発生（ｱｶﾏﾂ1本）が確認された。以降令和元年度には3本（ｱｶﾏﾂ3本、それぞれ単木）が確認されたことから、監視体制を強化し早期発見、早期駆除に取り組んでいく方針。
- 令和元年度においては、以下の取組みにより、松くい虫による被害の拡大防止に努めた。
  - 令和元年度から松林監視員を2名体制から4名体制に増員し、巡視期間も6ヶ月（5月～10月）から8ヶ月（4月～11月）に拡大するとともに監視回数を増やし、松くい虫による被害木周辺区域及び市内全域における監視を強化した。
  - スマートフォン等から投稿できる、松枯れ情報投稿アプリによる市民からの枯損木等の情報収集を実施した。
  - 被害木３本の伐倒及びくん蒸による駆除を実施した。

□ 事業内容

1　松林監視員による巡視

- 松くい虫被害の防除対策として、被害木の早期発見のための監視員による松林の監視、また誘引器設置（8箇所）による被害発生の予察を実施。

【事　業　費】585千円（うち譲与税510千円）

【実　　績】監視日数76日、枯損木発見32本

2　被害木の伐倒・くん蒸処理

- 松くい虫被害の拡大を抑えるため、直営又は委託による被害木・枯損木の早期駆除（伐倒、くん蒸）を実施。

【事　業　費】704千円（うち譲与税552千円）

【実　　績】 伐倒処理10本、くん蒸処理3本



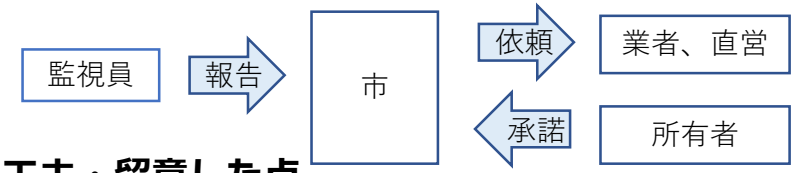
（事業１：監視の様子）



（事業２：くん蒸の様子）

□ 事業スキーム

1 **松林監視員による巡視**　　2 **被害木の伐倒・くん蒸処理**



□ 工夫・留意した点

- 監視員を増員し多人数の目で監視することで、今まで確認できなかった山林内の部分や見逃してきた部分の確認が可能となり、早期発見・報告に繋がるようにした。
- 被害木が確認された際には、被害木周辺の調査（被害木から半径100m）を実施しているが、傾斜を伴う山林内での距離の計測は難しいため、スマホによる地図アプリを活用し現地での調査を行った。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	6,328千円
②私有林人工林面積（※１）	2,500ha
③林野率（※２）	67.9%
④人口（※３）	50,128人
⑤林業就業者数（※４）	32人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」